

令和5年度 公の施設目標管理型評価書【新潟市會津八一記念館】

施設名	新潟市會津八一記念館			
管理者名	公益財団法人會津八一記念館	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
新潟市主管課	新潟市文化スポーツ部文化政策課			
所在地	区名	中央区	住所	万代3丁目1番1号 新潟日報メディアシップ5階
根拠法令	-			
設置条例	新潟市會津八一記念館条例			
施設概要	設置:昭和50年4月(平成10年市へ寄贈)(平成26年8月1日 移転) 施設規模:鉄筋コンクリート, 428.388㎡ 施設内容:展示室、応接室、会議室、事務室、ライブラリー、収蔵庫 料金区分:大人500円,大学生300円,高校生200円,中・小学生100円(特別展を除く)			

施設設置目的	
會津八一の作品、遺品等を収集し、保管し、及び展示することにより、會津八一の業績を顕彰するとともに、市民文化の向上に資するため	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
會津八一の遺墨・遺品・著書をはじめ會津八一に関する資料を調査研究し、文学・芸術など学芸に残した業績を伝え、広く後学の研究と鑑賞に供し、郷土新潟の文化振興とともに、わが国の教育・学術の興隆に寄与する(公益財団法人會津八一記念館定款第3条より抜粋)	

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	1 基準利用者数の達成	入場者数年間7000人以上	7,262人	B	
	2 広報の充実	ホームページアクセス件数年間1万9千件以上	32,421件	A	目標を大きく上回り評価できる。
	3 各種サービス別満足度	展示に対する感想「よかった」以上が80%以上	92%	A	目標を大きく上回り表かできる。
		接客に対する満足度で「普通」以上を80%以上	97%	A	目標を大きく上回り評価できる。
	4 苦情・要望に対する対応	苦情、要望には速やかに対応	対応している	B	
	5 設置目的に合致したサービス提供	文芸講演会の実施件数を年4回以上	5回	B	
校外学習の受入件数を年20回以上		30回	A	目標を大きく上回り評価できる。	
アウトリーチ活動の実施件数を年2回以上		7回	A	目標を大きく上回り評価できる。	
6 その他	入館者に占める県外者比率が20%以上	19%	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。	
財務	1 経費の節減	指定管理料を年度協定額及び交付決定額以下に抑える	主に電気料金高騰により超過した	C	厳しい状況の中だが、より一層経費節減に努め、指標の達成を望む。
	2 市の歳入の増加	観覧料収入を年間2,600千円以上	2,454千円	C	前年度を上回ったが、より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
業務	1 業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守している	B	
	2 安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	確立している	B	
	3 事件・事故発生時の対応の適切さ	AEDの使用法の周知徹底及び消防訓練等の実施	入居ビルの消防訓練への参加。自衛消防隊の役割分担を徹底した	B	
	4 日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	提出している	B	
	5 事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	提出している	B	
	6 改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する	指摘があれば速やかに対応するよう努めている	B	
	7 運営方針、事業目標の位置づけ	自館の設置目的、基本的使命が、運営の指針となっているか	指針としている	B	
	8 運営方針、事業目標の市民への公開	運営方針及び事業目標をホームページ等で市民へ公開しているか	公開している	B	

	9	運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無	事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業改善に役立っているか	展示会終了後に入館者アンケートの結果も踏まえ、評価、反省を行い、次の展示・運営に生かしている	B	
	10	運営方針を実現するための経営戦略の有無	市と定期的なミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか	担当課との連絡は密にとり、指導を仰ぎ、運営に反映させている	B	
	11	個人情報保護に関する実施の有無	実施していること	業務上取得した個人情報は予め掲げた目的以外には使用していない	B	
	12	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	税理士事務所からの指導に対応する一方、その他関連法規の遵守を念頭に業務にあたっている	B	
	13	守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	守秘義務のある情報の管理を徹底しており、違反するような事例はない	B	
人材	1	専門性の高い人材の配置、育成	学芸員を常時1人以上配置すると共に専門性に優れた育成を行うこと	学芸員を2人配置。展示会のテーマに沿った新たな調査研究を行い、図録や新聞などの原稿を執筆し、知識の拡大、深化に努めている。	B	
	2	職員のスキルとモチベーションの向上	積極的に職員研修を実施し、スキルの向上に努めているか	業務上必要な研修や類似施設との会合にも参加している	B	
	3	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	休日取得、時間外労働削減に努め、法令違反はない	B	

評価水準

- A 要求水準＝(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準＝(評価指標)が達成されている。
- C 要求水準＝(評価指標)が達成されていない。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

- ・年間入館者数は7,000人を超え、コロナ禍前の水準を回復した。特別展4,000人によるところが大きい。3企画展でも3,000人超で堅調だった。
- ・入館者数の増加に伴い、観覧料収入も評価指標にかなり近づいた。
- ・若年層への浸透を図る目的を込めた「高校生拓本大会」は市内8校から50人ほどに制限して開催したところ、評判がよく継続開催を予定している。
- ・展示に対する満足度は高い水準で維持できているが、展示量が少ないとの指摘は減っておらず、限られたスペースの有効利用を模索し続けている。

総合評価(所見)

入館者数は昨年度を上回り目標を達成しているほか、展示や接客に対する満足度も高い水準で目標を達成しており評価できる。また、校外学習の受入件数も目標を上回っているほか、「高校生拓本大会」の開催による若い世代に會津ハートを伝える取り組みも評価できる。観覧料収入は前年度を上回ったものの目標達成に向けてさらなる改善に努めてほしい。令和4年度も電気料金高騰により施設運営費が厳しい状況となったが、今後も物価高騰が見込まれるなかで、さらなる経費の節減に努めてほしい。